

新規事業箇所調書

		調書作成年月日		平成20年 2月12日																				
		事業担当課		防災砂防課																				
事業名	<small>おいくほ</small> 追久保地すべり対策事業	補助・単独の別	補助	事業主体	宮城県																			
施行地名	<small>おばらあざおいくほ</small> 白石市小原字追久保地内			管理主体	宮城県																			
根拠法令	地すべり等防止法																							
事業概要	事業目的	平成19年7月15日～16日にかけて本県を襲来した台風4号により、宮城県白石市小原字追久保地区において、大規模な地すべり災害（推定移動土塊量V 100万立米）が発生し、市道2路線が被害を受けたことにより付近の14世帯35名が一時孤立したほか、地すべり直下部の溪流が閉塞し、砂防えん堤1基が被害を受けたものである。 このため、更なる地すべり活動による溪流の閉塞防止や、市道の復旧事業を円滑に行うべく、地すべり対策事業により押さえ盛土工と地下水位低下工を主体とした対策工を実施、地すべり災害の再発防止を図るものである。																						
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 押さえ盛土工 一式 ・ 頭部排土工 一式 ・ 土留めえん堤工 1基 ・ 地下水排除工 一式 ・ 表面排水工 一式 																						
	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 ()</th> </tr> <tr> <td>内用地費</td> <td>[58 %]</td> <td>[42 %]</td> <td>[%]</td> <td>[%]</td> </tr> <tr> <td>12.40億円</td> <td>0.10億円</td> <td>7.18億円</td> <td>5.22億円</td> <td>- 億円</td> </tr> </table>				全体事業費	費用負担内訳				国	県	市町村	その他 ()	内用地費	[58 %]	[42 %]	[%]	[%]	12.40億円	0.10億円	7.18億円	5.22億円	- 億円
	全体事業費	費用負担内訳																						
国		県	市町村	その他 ()																				
内用地費	[58 %]	[42 %]	[%]	[%]																				
12.40億円	0.10億円	7.18億円	5.22億円	- 億円																				
事業期間	災害関連緊急事業としてH19年度途中より事業実施																							
要	事業期間	平成19年度～平成22年度（4年間）																						
	用地買収着手予定年度	平成20年度	工事着手予定年度	平成19年度																				
施設管理の予定	地すべり防止施設自体の管理は県となるが、当該地を通過する市道管理者（白石市）と連携を図り、合理的な維持管理形態となるべく、調整を図っていく。																							

事業の必要性	上位計画等	土木行政推進計画（宮城県土木部） 当該地すべり対策事業の実施に伴い，市道災害復旧事業も実施予定。
	事業を巡る社会経済情勢等	<p>社会経済情勢</p> <p>昨今の地球温暖化に伴う異常気象の多発により，全国各地で土砂災害が多発しており（平成18年発生件数1441件・死者行方不明者25名）土砂災害対策に対する社会のニーズは今後も高まっていくと思われる。</p> <p>地元情勢，地元の意見</p> <p>当該地は地すべり多発地帯であることから，事業への関心は高い。</p>
事業の有効性	事業効果	<p>想定される事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白石川支川蝦夷倉川の閉塞防止に伴う白石川への悪影響を回避。 ・白石市道小久保平原線の復旧に伴う小久保平地区をはじめとする集落の孤立化の防止。
事業の効率性	関連事業の概要・進捗状況等	白石市道の災害復旧事業(平成21年度予定)
	代替案との比較検討	地すべり土塊により寸断した市道及び河川のバイパス案が考えられるが，周辺の地すべりを誘発する恐れがあることから採用は不可能である。
	コスト縮減計画	頭部排土工により現場内で発生する残土を押さえ盛土工に全量流用し残土処理費を排除している。
	費用対効果	災害関連事業であり，算出していない。
環境への影響と対策	地域指定状況等	蔵王高原国立自然公園（普通地域）指定地
	影響と対策	工作物については小規模なものとし，環境への影響を最小限とする。

総合評価	事業箇所評価結果		
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)
	地すべり対策事業(新規事業箇所)		
	1位 / 2	2箇所	
	対応方針		
事業実施			

特定緊急地すべり対策事業

みやぎけんしろいし おいくぼちく
宮城県白石市 追久保地区

平成19年7月15日～16日にかけて本県を襲来した台風4号により、宮城県白石市小原字追久保地区において、大規模な地すべり災害(推定移動土塊量 $V \approx 100$ 万立米)が発生し、市道2路線が被害を受けたことにより付近の14世帯35名が一時孤立したほか、地すべり直下部の溪流が閉塞し、砂防えん堤1基が被害を受けたものである。

このため、更なる地すべり活動による溪流の閉塞防止や、市道の復旧事業を円滑に行うべく、平成19年度に災害関連緊急地すべり対策事業を申請し、同年8月7日に採択されたものである。また、地すべり全体の総合的な対策を確実に実施すべく、特定緊急地すべり対策事業を申請し、押さえ盛土工と地下水位低下工を主体とした対策工を実施、地すべり災害の再発防止を図るものである。

追久保地区特定緊急地すべり対策事業
全体事業費:550百万円
事業 期間:平成20年度～平成22年度
H20要求額:240百万円(国費120百万円)
H20実施工:押さえ盛土工 溪流保全工

